

2026年度
(令和8年度)

ファミリー ソーシャルワーク研修会

開催要項

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院

テーマ

社会的養護施設等による地域の子ども・子育て支援の展開に向けて
～必要な支援をすべての子ども・子育て家庭に届けるために～

本研修会の背景

子ども・子育て家庭の持つ課題が複雑化するなか、改正児童福祉法が施行され、社会的養護施設等には従来のインケアを基盤として、産前から自立期までを見据えた「切れ目のない支援」を提供する拠点としての多機能化・高機能化が求められています。また、親子の幅広いニーズに対応するため、すべての関係職員・機関に対し、入所児童と家族への支援だけでなく、多機関と連携・協働して地域への予防的アプローチによる支援を展開していくことが期待されます。

本研修会の目的

本研修会は、改正児童福祉法等をうけて社会的養護関係機関に求められる支援機能と各地の実践例を学ぶとともに、施設種別の垣根を超えた連携の重要性を再確認し、既存の枠組みにとらわれない具体的な実践方法を再考することで、多様な背景を持つ親子への新たな支援の可能性を探究することを目的とします。

研修日程・定員・申込締切

- ① 2026年10月21日（水）～10月22日（木） 定員200名
- ② 2026年11月12日（木）～11月13日（金） 定員200名
- ③ 2027年 1月21日（木）～ 1月22日（金） 定員200名

※定員に達した場合は、先着順。詳細は中央福祉学院ホームページにて随時お知らせいたします。

第一次申込締切

9月24日（木）

会場

中央福祉学院（ロフォス湘南）

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44

受講料

19,800円（税込）

※旅費・宿泊費・食事は別途

※研修会受講料は、**ご入金後の申込取消による返金はいたしかねます。**資料の送付をもって対応いたします。

参加対象

家庭支援専門相談員（ファミリーソーシャルワーカー）、
里親支援専門相談員、児童福祉司、母子支援員、
少年指導員、保育士、里親、ファミリーホーム養育
者・補助者、家族（保護者）支援に携わる児童福祉
施設職員や関係機関職員 等

主催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

共催

全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、
全国母子生活支援施設協議会

後援（予定）

公益財団法人全国里親会、全国児童家庭支援センター協議会、
全国児童自立支援施設協議会、全国児童心理治療施設協議会、
全国自立援助ホーム協議会、日本ファミリーホーム協議会

詳細を記載した
開催要綱・申込フォーム等の
ご案内はこちら！

ファミリーソーシャルワーク研修会ホームページ
<https://www.gakuin.gr.jp/training/fsw>



本研修会（研修日程①～③のいずれか2日間）を受講した方には、研修終了時に修了証書を発行します。本研修は、都道府県により社会的養護処遇改善加算対象研修となっています。詳細は、施設所在地の都道府県担当課に確認ください。

動画配信

配信期間

2026年9月上旬～1月下旬 ※詳細は受講決定通知にてお知らせします。

時 間	内 容
60分程度	■事前学習 「子ども・子育て支援に係る制度動向と社会的養護関係機関の連携」 改正児童福祉法に係る制度動向や、こども家庭センターの役割、令和7年度からの後期社会的養育推進計画、令和8年度の政府予算等について、全国の状況や社会的養護施設に求められる役割等を学びます。 【講師】・福永 寛徳 氏（こども家庭庁支援局家庭福祉課 児童福祉専門官）

※修了証明発行の必須条件ではありませんが、ご視聴いただいたことを前提に研修を進めますので、受講までに各自で視聴いただくことをお勧めします。

第1日

研修日程①

2026年10月21日（水）

研修日程②

11月12日（木）

研修日程③

2027年1月21日（木）

時 間	内 容																
9:50～10:50	受付																
10:50～11:00	■開会・オリエンテーション																
11:00～13:00 (120分)	■講義・演習 「社会的養護におけるソーシャルワークの重要性～ソーシャルワークの根幹的視点をふまえて～」 支援を要する子どもや子育て家庭と向き合う際のソーシャルワークの重要性を理解し、基礎理論から実践まで体系的に学ぶとともに、演習を通してファミリーソーシャルワーカーとしての実践知を身につけます。 【講師】 ▶研修日程①③（10月21日、1月21日）……………倉石 哲也 氏（武庫川女子大学 教授） ▶研修日程②（11月12日）……………小山 顕 氏（関西学院短期大学 専任講師）																
13:00～13:50	昼食休憩																
13:50～15:20 (90分)	■講義 「社会的養護関係機関が取り組むべきソーシャルワークとは～地域の子ども・子育て家庭の状況と国の施策動向をふまえて～」 子どもや子育て家庭の多様化・複雑化する課題に対して、関係機関や職員が理解しておくべきポイントを、国の施策動向や令和7年度からの後期社会的養育推進計画の現状等もふまえた視点で学びます。 【講師】 ▶研修日程①（10月21日）……………佐藤まゆみ 氏（淑徳大学 教授） ▶研修日程②（11月12日）……………横堀 昌子 氏（青山学院大学 教授） ▶研修日程③（ 1月21日）……………増沢 高 氏（子どもの虹情報研修センター センター長）																
15:20～15:35	休憩																
15:35～17:55 (140分)	■実践報告 「社会的養護関係機関による地域の子ども・子育て支援の展開に向けて～必要な支援をすべての子ども・子育て家庭に届けるために～」 多様化・複雑化する課題に対応するための包括的な相談支援体制の構築に向け、先駆的な実践例や参加者間のディスカッションを通じ、行政・関係機関、社会的養護施設それぞれの視点から地域を支えるファミリーソーシャルワークのあり方を検討します。 <table><tr><th>研修日程</th><th>【進行者】</th><th>【実践報告①】 行政・関係機関の視点で とらえる地域連携</th><th>【実践報告②】 社会的養護施設の視点で とらえる地域連携</th></tr><tr><td>日程① 10月21日</td><td>佐藤まゆみ 氏 淑徳大学 教授</td><td>岡本由美子 氏 大阪府八尾市 健康福祉部 次長</td><td>福本 啓介 氏 社会福祉法人白十字会林間学校 あすなるサポートステーション 所長／神奈川県</td></tr><tr><td>日程② 11月12日</td><td>横堀 昌子 氏 青山学院大学 教授</td><td>栗田菜穂子 氏 神奈川県中央児童相談所 虐待対策支援課 専門福祉司</td><td>武樋 保恵 氏 児童家庭支援センター 高知みその センター長／高知県</td></tr><tr><td>日程③ 1月21日</td><td>増沢 高 氏 子どもの虹情報研修センター センター長</td><td>池畑賢太郎 氏 滋賀県社会福祉協議会 つながり若者センター 相談支援コーディネーター</td><td>岩城 克枝 氏 社会福祉法人防府海北園 母子生活支援施設 沙羅の木 施設長／山口県</td></tr></table>	研修日程	【進行者】	【実践報告①】 行政・関係機関の視点で とらえる地域連携	【実践報告②】 社会的養護施設の視点で とらえる地域連携	日程① 10月21日	佐藤まゆみ 氏 淑徳大学 教授	岡本由美子 氏 大阪府八尾市 健康福祉部 次長	福本 啓介 氏 社会福祉法人白十字会林間学校 あすなるサポートステーション 所長／神奈川県	日程② 11月12日	横堀 昌子 氏 青山学院大学 教授	栗田菜穂子 氏 神奈川県中央児童相談所 虐待対策支援課 専門福祉司	武樋 保恵 氏 児童家庭支援センター 高知みその センター長／高知県	日程③ 1月21日	増沢 高 氏 子どもの虹情報研修センター センター長	池畑賢太郎 氏 滋賀県社会福祉協議会 つながり若者センター 相談支援コーディネーター	岩城 克枝 氏 社会福祉法人防府海北園 母子生活支援施設 沙羅の木 施設長／山口県
研修日程	【進行者】	【実践報告①】 行政・関係機関の視点で とらえる地域連携	【実践報告②】 社会的養護施設の視点で とらえる地域連携														
日程① 10月21日	佐藤まゆみ 氏 淑徳大学 教授	岡本由美子 氏 大阪府八尾市 健康福祉部 次長	福本 啓介 氏 社会福祉法人白十字会林間学校 あすなるサポートステーション 所長／神奈川県														
日程② 11月12日	横堀 昌子 氏 青山学院大学 教授	栗田菜穂子 氏 神奈川県中央児童相談所 虐待対策支援課 専門福祉司	武樋 保恵 氏 児童家庭支援センター 高知みその センター長／高知県														
日程③ 1月21日	増沢 高 氏 子どもの虹情報研修センター センター長	池畑賢太郎 氏 滋賀県社会福祉協議会 つながり若者センター 相談支援コーディネーター	岩城 克枝 氏 社会福祉法人防府海北園 母子生活支援施設 沙羅の木 施設長／山口県														
18:00	第1日終了																

※18:30より、当日の夕食を兼ねた交流会を開催します（希望者のみ、費用別途。詳細は中央福祉学院ホームページにてご案内します）。



第2日

時 間	内 容
9:30～12:00 (150分)	■ テーマ別分科会 子ども・子育て家庭の多様化・複雑化する課題に対して、改正児童福祉法や各種の制度によって進められる体制整備の取り組みや新たな事業を活用し、社会的養護関係機関におけるファミリーソーシャルワークをどのように展開していく必要があるのか、テーマに分かれて検討します。
13:00～15:30 (150分)	
計300分	
15:35	研修会終了

研修日程①

2026年10月22日（木）

内 容
<第1分科会> 「里親支援のこれから」 里親支援センターの設置等、ますます重要となる里親支援について、社会的養護関係機関の支援のあり方や連携、アセスメントの重要性について学びます。 キーワード 里親支援センター、里親支援専門相談員、フォスタリング 【講 師】・伊藤嘉余子 氏 （大阪公立大学 教授）
<第2分科会> 「当事者が求めるアフターケアの実践をめざして」 施設等の退所、施設間移行に係る幅広い視野をもつとともに、子ども・そしてその保護者が本当に必要とする支援とは何かを考えます。あわせて支援者としてアフターケアを考え、実践するために必要なソーシャルワーク力を学びます。 キーワード リービングケア・アフターケア、地域支援、多機関連携 【講 師】・谷口由希子 氏 （名古屋市立大学 大学院 准教授）
<第3分科会> 「親子関係（再）構築のために必要な支援とは」 親自身の虐待経験や、親子ともに障害がある家庭が近年増加しており、虐待のリスクにもつながっています。課題が多様化している親子に対して、それぞれの親子関係に寄り添ったアセスメントを行い、支援を組み立てるための視点を学びます。 キーワード 親子関係（再）構築支援、愛着形成、多機関連携、チーム養育 【講 師】・志村 浩二 氏 （浜松学院大学STEAM 教育研究所 客員研究員（元・短期大学部 学科長） 児童発達支援センター「エンジョイウェルヴィレッジ」 センター長）

研修日程②

2026年11月13日（金）

内 容
<第1分科会> 「地域と連携したソーシャルワークの実践」 母子保健と児童福祉の複合的な在宅支援、地域支援への取り組みが求められるなかで、社会的養護関係機関の機能を活かした方策を学びます。 キーワード こども家庭センター、在宅支援、地域支援、多機関連携 【講 師】・宮間恵美子 氏 （みやま社会福祉士合同事務所 代表）
<第2分科会> 「子どもの声を聞けるソーシャルワーカーとなるために」 意見表明等支援員が配置される等、子どもとその保護者の権利擁護について、職員一人ひとりにさらなる取り組みが求められています。アドボカシーを実践するソーシャルワークを実現する方法を学びます。 キーワード 子どもの権利擁護、アドボカシー、意見表明 【講 師】・栄留 里美 氏 （西南学院大学 准教授）
<第3分科会> 「親子関係（再）構築のために必要な支援とは」 親自身の虐待経験や、親子ともに障害がある家庭が近年増加しており、虐待のリスクにもつながっています。課題が多様化している親子に対して、それぞれの親子関係に寄り添ったアセスメントを行い、支援を組み立てるための視点を学びます。 キーワード 親子関係（再）構築支援、愛着形成、多機関連携、チーム養育 【講 師】・志村 浩二 氏 （浜松学院大学STEAM 教育研究所 客員研究員（元・短期大学部 学科長） 児童発達支援センター「エンジョイウェルヴィレッジ」 センター長）

内 容

<第1分科会>

「妊娠期から支えるソーシャルワーク」

切れ目のない支援を実現するため、事例等を通して具体的な取り組みを学び、とくに産前・産後からの支援を中心に、アセスメントの重要性等、関係者が持つべき視点を学びます。

【キーワード】 産前・産後支援、妊産婦等生活援助事業、特定妊婦支援、若年妊婦支援

【講師】・中島 尚美 氏（関西学院大学 非常勤講師）

<第2分科会>

「子どもの声を聞けるソーシャルワーカーとなるために」

意見表明等支援員が配置される等、子どもとその保護者の権利擁護について、職員一人ひとりにさらなる取り組みが求められています。アドボカシーを実践するソーシャルワークを実現する方法を学びます。

【キーワード】 子どもの権利擁護、アドボカシー、意見表明

【講師】・川瀬 信一 氏（一般社団法人 子どもの声からはじめよう 代表理事）

<第3分科会>

「社会的養護におけるアセスメント技法～事例を通じた実践演習～」

それぞれの施設・機関が培ってきた強みや実績を知り、必要な支援につなげられる知識と機関連携や人脈も活用しながらの予防支援を実現するため、子ども・子育て家庭が抱えるさまざまなニーズを統合的・多面的な視点でとらえるアセスメントを学びます。

【キーワード】 ケース検討、アセスメント、地域連携、資源づくり

【講師】・山下興一郎 氏（全国社会福祉協議会 中央福祉学院 主任教授）

会場までのご案内

中央福祉学院（ロフォス湘南）

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44

▶電車・飛行機をご利用の場合

- ・東京駅から逗子駅までJR横須賀線利用で約1時間
- ・新横浜駅から京急汐入駅まで横浜市営地下鉄利用（京急横浜経由）で約50分
- ・新横浜駅から逗子駅までJR横浜線・横須賀線利用で約50分
- ・羽田空港から京急汐入駅または京急逗子・葉山駅まで京急蒲田経由で約60分



▶「ロフォス湘南」最寄りの駅よりバスをご利用の場合

- ・JR逗子駅または京急逗子・葉山駅からロフォス湘南まで路線バス利用で約25分
- ・京急汐入駅からロフォス湘南まで路線バス利用で約30分
- ・JR横浜駅東口（YCAT）からロフォス湘南まで高速バス利用で約45分



▶お車をご利用の場合

横浜横須賀道路 逗子ICより逗葉新道経由で約10分



個人情報の取り扱いについて

社会福祉法人 全国社会福祉協議会・中央福祉学院は、平成17年4月1日の「個人情報の保護に関する法律」の施行に伴い、本学院の研修事業をご利用いただく皆様から受講申込書等でお預かりいたしました大切な個人情報につきまして、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針（プライバシー・ポリシー）」に基づいて適切な取り扱いに努めてまいります。

全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、ホームページに掲載しています。▶<https://www.shakyo.or.jp/kojin.html>

研修内容・研修参加申込に関するお問い合わせ先

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院（担当：高島、中島）

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44

TEL：046-858-1355 FAX：046-858-1356

MAIL：fsw@shakyo.or.jp